

Endo S2（化膿レンサ球菌由来）

Cat. No. ESGZ-0001

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	Endo S2は高い特異性を有するエンドグリコシダーゼであり、IgGのN結合型糖鎖における最内層の2つのN-アセチルグルコサミン残基間のグリコシド結合を切断します。
用途	IgG脱糖鎖化、抗体N結合型糖鎖解析、糖タンパク質特性評価、および抗体糖鎖修飾ワークフロー。
別名	Endo S2; エンドグリコシダーゼ S2; IgG特異的エンドグリコシダーゼ S2

製品情報

種	Streptococcus pyogenes（遺伝子由来）
由来	組換え大腸菌発現
形態	10倍濃縮バッファーを添付した液体酵素製剤
純度	SDS-PAGEにより95%超
活性	50 U/μL
比活性	50 U/μL
特異性	2つの最内側N-アセチルグルコサミン残基間を切断することにより、IgG上の高マンノース型、ハイブリッド型および二本鎖複合型のN結合型糖鎖を効率的に加水分解します。
緩衝液	20 mM Tris、100 mM NaCl、pH 7.5
機能	キトビオースコアのエンドグリコシド結合を切断することにより、IgGからN結合型グリカンを除去する。
基質	IgGのN結合型糖鎖; 活性測定にはネイティブマウスIgGを使用する。
品質	SDS-PAGEにより純度95%超であることを確認; エキソグリコシダーゼ汚染は〇出限界未〇; プロテアーゼ活性は認められない。
単位定義	1ユニットとは、37℃で1時間、10 μL反〇系において、ネイティブマウスIgG 5 μgから糖鎖を95%超除去するために必要な酵素量を指します。
反〇	IgGのN結合型糖鎖における最内層の2つのN-アセチルグルコサミン残基間のグリコシド結合の加水分解。
備考	Hisタグは、反〇後に酵素を除去することを容易にします。
コンポーネント	Endo S2 (50 U/μL) 10× Buffer
使い方	IgGの脱糖鎖化および抗体N結合型糖鎖の特性解析のため。

使用法とパッケージング

包装	オプション1: Endo S2 (1,000 U) ; 10×バッファー (1 mL) オプション2: Endo S2 (1,000 U×5本) ; 10×バッファー (1 mL×5本)
----	---

保管・発送情報

保存方法	-25℃~-15℃で保存してください。有効期間、1年。
------	-----------------------------

